

「諦めない気持ちが大切」



北海道日本ハムファイターズ  
2015 ファイターズガール

五十嵐 有貴 さん

Igarashi Aki



北海道のプロ野球球団といえば誰もが知っている「北海道日本ハムファイターズ」。最高の笑顔とパフォーマンスでファンと一体となりファイターズの応援を盛り上げる「2015 ファイターズガール」に、当別町出身の五十嵐有貴い が ら し あ きさんがいます。

新しいユニフォームが初披露された3月17日、五十嵐さんからお話を伺うことができました。

ダンス経験は…

体を動かすのが小さな頃から好きでした。中学校では卓球部で練習に汗を流していましたが、高校では部活に入らず平凡な学生生活を送っていました。そんな中、「やっぱりスポーツがしたい」「スポーツに特化したことに挑戦してみたい」と思い、専門学校に進学しました。ある日、ファイターズガールを募集していることを知り、自分の可能性にチャレンジしようと応募しました。当時450人以上が応募し、その中から22人が選ばれるということで、絶対に不合格だと思っていましたが、合格の連絡が来た時の驚きと喜びは忘れられません。でも、本当の意味でのチャレンジはそこから始まりました。ダンス経験者が多い中、私は経験が一切なく、そのせいでメンバーに迷惑をかけるのではないかと。ダンスレッスン

を終え、帰宅後も深夜2時過ぎまで一人で特訓した時期もありました。今だから話せるのですが、ファイターズガール1年目は「笑うこと」ができませんでした。ダンスが上手く踊れず、自分に自信が持てなかったのが原因です。でも、弱音を吐いてもダンスは上手にならないし、自分でやると決めたことなので、気持ちを強く持ち練習しました。

多くの支えがあってこそ

支え てくれた家族や近所の方からの「いってらっしゃい。頑張ってね」と何気ない気づかいに対する感謝の気持ち「ありがとう」を力に変え、絶対に諦めないと決めました。試合後、帰宅時間が夜遅くなった時、ふるさとの夜空を見上げて星がきれいに見えると気持ちが落ち着くし、ホッとしますね。やっぱり地

元(当別町)が一番だなんて。色々な意味で心の拠り所で、支えてくれる方がいる。多くのファン、球団関係者、そして家族、地域の方への感謝の気持ちが今の私の力、自信となり、自然と笑顔が出るようになりました。

夢で終わらせない

努力 したから必ず良い結果が出るとは限りません。でも、チャレンジすることを止めてしまえば「夢」の実現はできなくなります。どんなことでも良いのですが「夢」を持つこと、諦めないことが一番大切なことだと思います。ファイターズガールとして今年で4年目になりますが、初心を忘れず全力でチームを応援し、選手、ファン全ての方に「元気」「夢」を届けられるようこれからも笑顔で頑張ります。

(3月17日取材)